

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

【 北九州市 】

1 実践テーマ	【Ⅲ, V】
2 実施対象者	北九州市立西小倉小学校 4学年 4クラス 137名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名 (オリンピック・パラリンピック学習)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目が不自由な生活する苦労や工夫を知り、ゴールボールの競技体験を通して考え、障害をもった方たちと共生する社会について考えられるようにする。 ・ ゴールボールの選手の方の話を聞いたり、体験をしたりして、誰もが幸せに生き生きと生活するために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情が養われるようにする。
5 取組内容	<p>【事前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゴールボールについて知る（1時間） ・ ゴールボールの競技内容やオリンピックでの試合の様子を編集したDVDを鑑賞する。 ・ ゴールボールのボールを持ち、重さを知る。 ・ アイシェイドを着用し、何も見えないことを体験する。 ・ 事前に体験した学習の感想をまとめる。 <p>※コートづくり</p> <p>【当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック選手について知る。 ・ 当日はゴールボールの選手2名が来校し、子ども達にゴールボールという種目の説明や、どうしてこの種目と出会ったか、続けてみてどんなよさがあったか等を話していただく。また、実際のメダルを見せていただく。 ○ ゴールボール体験をする。 ・ ゴールボールの選手が行うストレッチやトレーニングを体験し、ゴールボールを投げる体験をする。 ・ 教師と選手とで攻撃や守備のデモンストレーションを行った。弧の時、オリンピック選手の動きを見せていただく。 ・ 代表児童によるゲーム体験又は観戦。 ・ 感想を発表する。

	<p>【事後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教室に戻ってから感想を書く。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • ゴールボールという種目について関心を持ち、競技やパラリンピックへの理解が深まった。 • オリンピック選手の動きを実際に見たことで、スポーツ選手への興味・関心、憧れが強まった。 • 障害をもっている人への理解が深まった。 • スポーツを応援する態度が高まった。 • 次のオリンピックで応援したいという感想をもつ子どもが多かった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 2クラスずつ体験することで、体験する時間を増やすようにした。 • 事前にどのクラスでもアイシェイドを着用したり、ボールを持ったりして、競技を身近に感じられるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 体験する時間があまりなかったため、競技に対する理解や応援する態度は高まったが、もっとしたかったという感想があった。
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 4年生で実施予定